

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社クレハ（証券コード:4023）

【新規】

発行登録債予備格付 A

【見直し変更】

長期発行体格付 A
格付の見直し 安定的 → ポジティブ

【据置】

債券格付 A
国内CP格付 J-1

■ 格付事由

- ファイン・スペシャリティ主体の化学メーカー。機能樹脂を中心とする機能製品事業、医薬品や農薬などの化学製品事業、家庭用品や食品包装材などの樹脂製品事業をはじめ、幅広い事業を手掛ける。リチウムイオン二次電池用バインダー用途のフッ化ビニリデン樹脂（PVDF）や家庭用ラップ「NEW クレラップ」などで高いシェアを有する。海外売上高比率は4割弱。生産は主力のいわき事業所（福島県いわき市）のほか、米国や中国にも拠点を構築し、差別化された製品のグローバル展開を図っている。
- 業績は堅調に推移する見直しである。機能製品事業では xEV に多く用いられる PVDF や PPS 樹脂の販売が増加している。樹脂製品事業では景気に左右されない家庭用ラップの販売が着実に増加している。PGA 樹脂の収支は厳しい状況が続いているが、その他の製品の成長により利益水準が高まっている。また、財務体質は健全で、近年は利益の資本蓄積などで財務基盤の強化が進んでいる。以上により、格付は据え置すが、見直しをポジティブとした。高い利益水準の持続力を見定め、格付に反映させていく。
- 23/3 期の会社計画の売上収益は 1,800 億円（前期比 6.9%増）、営業利益は 220 億円（同 9.2%増）と、前期に続き、いずれも過去最高を更新する見直しである。多くの製品で、原燃料価格の高騰分の価格転嫁が進みつつある。自動車生産の動向などに留意は必要だが、PVDF や PPS 樹脂の生産能力の拡充に努めており、中期的にそれらの自動車用途での販売増が期待できよう。シェールオイル・ガス掘削用途向けの PGA 樹脂は 23 年度の黒字化を目指しており、その取り組みの進捗に注目していく。
- 22/3 期末の親会社所有者帰属持分比率は 70.5%、ネットキャッシュがプラスであるなど、財務構成は良好である。親会社の所有者に帰属する持分は約 2,000 億円と 12/3 期末の 900 億円弱から大きく増加し、厚みが増している。PVDF は中国で新工場の建設を進めているほか、日本、中国に次ぐ第三国での生産も検討している。そのため、設備投資はこれまでよりも高水準で推移する可能性があるが、現状のキャッシュフロー創出力を踏まえれば、引き続き健全な財務体質を維持できると想定される。

（担当）藤田 剛志・佐藤 洋介

■ 格付対象

発行体：株式会社クレハ

【新規】

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	200 億円	2022年7月30日から2年間	A

【見直し変更】

対象	格付	見直し
長期発行体格付	A	ポジティブ

【据置】

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第6回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	70億円	2017年9月1日	2022年9月1日	0.140%	A
第7回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2018年10月18日	2023年10月18日	0.140%	A

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	200億円	J-1

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2022年7月27日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：藤田 剛志
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「化学」（2022年6月15日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行者・債務者等） 株式会社クレハ
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
 - 格付関係者が提供した格付対象の商品内容に関する書類
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル